



あいちの学童保育

県連協ニュースNo. 12号
2019年3月10日発行
愛知学童保育連絡協議会
TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324
Email:aichigakudou@gakudou.biz
http://gakudou.me/aichikenrenkyou/

盛況！ あいち学童保育研究集会

3月3日（日）、日本福祉大学美浜キャンパスで行われた第35回あいち学童保育研究集会は会場決定が遅れたにもかかわらず、約720名の参加者で活気あふれる集会となりました。

記念講演は3会場とも満席で、分科会でも熱心に学び、交流する姿が見られました。



遠く岩手、福島、兵庫や近隣の三重、静岡からも参加があり、「楽しかった」「たくさん刺激を受けた」と言っていました。参加された皆さん、いかがでしたか？



多くの学び得たこと、感じたことを、『もう一歩先の学童保育のカたち』につなげていきましょう。

2019年度は研修計画を立ててみませんか？

「学童保育指導員は研修を受けること。そして、運営者は研修を受けさせること。」ということが市町村の条例で定められています。パートやアルバイトの学童保育指導員ももちろん対象です。

年度も押し詰まってから、受けていなかったとか、忙しいから受けられないといったことにならないよう、研修予算の確保と同時に、年間の研修計画を立てることをお勧めします。

研修の企画立案や研修計画の策定などについては、学童保育指導員協会がお手伝いしています。経験年数や学童保育の状況に合った研修計画を立てることで、研修の効果を上げるだけでなく、受講状況の管理も可能になります。ぜひご相談ください。

「研修のことは指導員さんに任せてあるから…」では、運営上のリスクを抱えることとなります。学童保育指導員同様、保護者会を含めた運営者も研修について一緒に考えていきましょう。

ICT化予算について

政府の新年度予算案概要が発表されていますが、それと併せて、今年度（2018年度）の補正予算案も明らかになっています。

それによると、「放課後児童クラブ等におけるICT化の推進」と

して、子どもの安全確保や学童保育指導員の業務負担軽減を図るためのICT化を推進するための費用に対する補助が計上されています。数年前にも同様の補助金が設けられたのを覚えている方もいらっしゃるでしょうか。そのときと同様、PC及びPC周辺機器や会計ソフト等の導入等が対象となります（市町村により違いがあります）。ただし、市町村・事業者（学童保育運営者）も1/4ずつ負担する必要がある（残りの1/2を国が補助：基準額50万円）ため、補助の活用には市町村の予算化が不可欠です。

国では、仕組みとして今年度の補正予算としていますが、市町村の予算化次第では、名古屋市のように新年度での対応ということも可能です。担当課へ私たちから情報を積極的に提供し、予算化してもらおう働きかけていきましょう。県内では、名古屋市が対応する予算案を議会に提出しています。

あいちの学童保育情報 ハンドブック2018完成！

お待たせしました！「あいちの学童保育情報ハンドブック」の2018年度版を3月3日発刊しました。

「あいちの学童保育情報ハンドブック」は愛知県内の自治体施策のほか、市町村毎の学童保育所の「入所要件」「しょうがいのある子どもの受けいれ」「開設日開設時間」「施設設備」「防災防犯対策安全管理」「保育料」「おやつ」等に関して、全自治体担当課の協力による詳細調査データを整理し、図表化を行いました。さらに調査結果の傾向分析と今後の課題等を記述しています。また、基礎データとして、県内の学童保育所を網羅した一覧表等の情報も載せてあり、この一冊で愛知の学童保育全てを俯瞰できる内容となっています。

編集作業は愛知学童保育連絡協議会役員と名古屋学芸大学の吉葉先生、西村先生で構成するハンドブック委員が担当しました。

頒価¥2,000 - です。是非お求めの上、あいちの学童保育施策を比較検討し、自分の市町村施策向上の参考にしましょう。



「日本の学童ほいく」
オススメしてます♪

ほいく誌部会より



ほいく誌部会は各連協から選出された担当者さんと共に、日本の学童ほいく（以下 ほいく誌）の普及拡大をすすめています。愛知で今（2019年3月）、読まれているほいく誌は1,638冊。県内の学童保育所1,518箇所、入所児童数55,838人と比べると、残念ながらまだまだ普及が進んでいない状況です。皆さんの周りにほいく誌を知らない方はいないでしょうか？或いは、必要なときにすぐ手に取って読める場所にほいく誌が有るのでしょうか？

3月3日に発行された「ほいく誌ファンNo54」では、当日開催された「あいち学童保育研究集会」の分科会テーマに沿った記事が掲載されたほいく誌を紹介しています。今年の研究集会に行った人も、行けなかった人も、是非、研究集会を振り返りながら（又は想像しながら）ほいく誌を改めて読んでいただけたら、と思います。

（豊橋市 保護者）